

19 治安情勢

仙南地域を管轄している大河原、白石及び角田の各警察署の少年非行、犯罪の発生状況及び交通事故の発生状況は、前年と比較して、少年非行については大河原及び角田で減少、白石で増加した。全刑法犯の認知状況については、前年と比較して大河原で増加、白石及び角田で減少した。また、交通事故の発生状況は、死亡事故が3署とも発生を抑制した。

1 少年非行の概況（平成31年1月1日現在）

(1) 検挙・補導件数（単位：人）

		平成30年	平成29年	増減
大河原	総数	112	113	△ 1
	刑法犯少年	16	19	△ 3
	犯罪少年	13	14	△ 1
	触法少年	3	5	△ 2
	特別法犯少年	1	2	△ 1
	ぐ犯・不良行為少年	95	92	3
白石	総数	112	74	38
	刑法犯少年	6	6	0
	犯罪少年	6	6	0
	触法少年	1	0	1
	特別法犯少年	0	0	0
	ぐ犯・不良行為少年	105	68	37
角田	総数	124	187	△ 63
	刑法犯少年	9	6	3
	犯罪少年	6	4	2
	触法少年	3	2	1
	特別法犯少年	4	0	4
	ぐ犯・不良行為少年	111	181	△ 70

(2) 特徴

ア 大河原

- ・ 総数は112人で、前年と比較して1人(0.8%)減少した。
- ・ 刑法犯少年は16人で、前年と比較して3人(15%)減少した。
- ・ 特別法犯少年は1人で、前年と比較して1人(50%)減少した。
- ・ ぐ犯・不良行為少年は95人で、前年と比較して3人(3.2%)増加した。

イ 白石

- ・ 総数は112人で、前年と比較して38人(51.4%)増加した。
- ・ 刑法犯少年は6人で、前年の取扱いと同数であった。
- ・ ぐ犯・不良行為少年は105人で、前年と比較して37人(54.4%)増加した。
- ・ 不良行為少年104人のうち、行為別では、深夜はいかいが全体の39.4%を占め、学識別では、高校生が全体の55.7%を占めている。

ウ 角田

- ・ 総数は124人で、前年と比較して63人(33.7%)減少した。
- ・ 刑法犯少年は9人で、前年と比較して3人(50%)増加した。
- ・ 特別法犯少年は4人で、前年と比較して4人(400%)増加した。
- ・ ぐ犯・不良行為少年は111人で、前年と比較して70人(38.7%)減少した。

2 犯罪の発生状況（平成31年1月1日現在）

(1) 全刑法犯の認知状況（単位：件）

	大河原			白石			角田		
	認知件数	検挙件数	検挙率(%)	認知件数	検挙件数	検挙率(%)	認知件数	検挙件数	検挙率(%)
H30	450	142	31.6	222	130	58.6	128	67	52.3
H29	422	155	36.7	255	113	44.3	162	83	51.2
増減	28	△ 13	-5.2P	△ 33	17	14.2P	△ 34	△ 16	1.1P

(2) 重要犯罪、重要窃盗犯の認知状況

		殺人	強盗	強姦	強制わいせつ	放火	侵入窃盗	乗物盗	ひったくり	すり	
		大河原	H30	1	0	1	5	0	58	91	0
	H29	1	1	0	11	1	57	85	0	3	
	増減	0	△ 1	1	△ 6	△ 1	1	6	0	△ 3	
	白石	H30	0	0	2	1	18	22	0	0	
	H29	0	0	0	2	0	29	23	0	0	
	増減	0	0	2	△ 1	1	△ 11	△ 1	0	0	
	角田	H30	0	1	0	4	0	16	15	0	0
	H29	0	0	0	0	0	21	26	0	0	
	増減	0	1	0	4	0	△ 5	△ 11	0	0	

(3) 窃盗犯の認知状況

		空巢	忍込み	事務所荒し	出店荒し	庫上ねらい	自動車盗	オートバイ盗	自転車盗	部品ねらい	自販機ねらい	万引き	
		大河原	H30	19	10	22	7	14	3	2	86	8	0
	H29	18	4	7	8	21	0	4	81	4	6	41	
	増減	1	6	15	△ 1	△ 7	3	△ 2	5	4	△ 6	6	
	白石	H30	7	2	1	3	11	1	2	19	6	6	11
	H29	8	0	3	3	15	2	3	18	9	11	19	
	増減	△ 1	2	△ 2	0	△ 4	△ 1	△ 1	1	△ 3	△ 5	△ 8	
	角田	H30	6	3	3	0	5	3	0	12	2	2	14
	H29	5	3	3	3	6	1	0	25	4	2	20	
	増減	1	0	0	△ 3	△ 1	2	0	△ 13	△ 2	0	△ 6	

3 交通事故の発生状況（平成31年1月1日現在）

(1) 交通事故の発生状況 ※概数

（単位：発生・物損は件、死者・負傷者は人）

	平成30年				平成29年				増減			
	発生	死者	負傷者	物損	発生	死者	負傷者	物損	発生	死者	負傷者	物損
大河原	241	0	316	1,862	319	0	423	1,809	△ 78	0	△ 107	53
白石	114	0	149	1,069	116	5	132	1,138	△ 2	△ 5	17	△ 69
角田	84	0	103	808	99	2	124	865	△ 15	△ 2	△ 21	△ 57

(2) 交通事故の特徴

ア 大河原

- ・ 死亡事故は0件で、前年同様発生を抑制した。
- ・ 高齢者が関係する交通事故は64件発生（全体の26.6%）し、前年と比較して4件減少した。
- ・ 交差点又は同付近での交通事故は157件（全体の65.1%）発生し、前年と比較して33件減少した。
- ・ 発生原因は、安全不確認による交通事故が68件（全体の28.2%）、前方不注意による事故が58件（全体の24.1%）発生するなど、漫然運転が事故の要因となっている。

イ 白石

- ・ 死亡事故は0件で、記録の残る昭和30年以降初めてのこと。
- ・ 高齢者の事故は17件（14.9%）で、前年と比較して13件減少した。
- ・ 発生場所は交差点・同付近で54.4%を占めるほか、追突事故が40.3%を占める。
- ・ 発生原因は、前方不注意が45.6%、安全不確認が24.6%を占める。

ウ 角田

- ・ 死亡事故は0件で、前年と比較して2件2人減少した。
- ・ 高齢者が関係する交通事故は、22件発生（全体の26.2%）し、前年と比較して10件減少した。
- ・ 交差点又は同付近での交通事故は、52件（全体の61.9%）発生し、前年と比較して6件減少した。
- ・ 事故類型別では、追突事故、出会い頭事故がそれぞれ30件で全体の7割を占めており、発生原因としては、前方不注意、安全不確認による事故が多い。